

# 音楽科「いい音見つけて演奏しよう」

名古屋市立笠寺小学校 平賀 真司

## 1 指導目標

楽器の種類による音色の違いを感じ取り、登場人物のイメージに合った楽器を選び、演奏することができる。

## 2 児童の実態

本学級の児童は、ウッドブロックやトライアングルなどの楽器を手にするると喜んで音を出す様子が見られる。しかし、音が出ることを喜んでいてだけで、楽器の種類による音色の違いを味わっているとは言えない。また、曲に合わせて音を出す時、教師が合図を出すものの、音を出すことに夢中になり、楽器の音を出すタイミングを合わせる事が難しい。

## 3 題材において目指す児童の姿

楽器の種類による音色の違いを感じ取り、登場人物のイメージに合った楽器を選べるようにする。

楽器の音を出すタイミングに合わせて、演奏できるようにする。

## 4 学習効果を高めるための手だて

ICT機器で、教室や運動場など身の回りで聴こえる音を場所とともに録画する。

ICT機器で、登場人物に合った楽器をロイロノートで提出し、共有する。

ICT機器で、楽器の音を出すタイミングで視覚支援する。

## 5 指導計画

いい音見つけて演奏しよう（7時間完了）

時数	主な学習活動
1	「どんな音がきこえるかな」【ICT機器で録画する】 電車の音、落ち葉を踏む音など、身の回りの様々な音を感じ取る活動
2	「どんな音がきこえるかな」【ICTで録画したものを発表する】 身の回りで聴こえた音の特徴の発表。
3	「ゆかいな時計」【ICT機器で音を出すタイミングを視覚支援する】 楽器の種類や音色の違いを感じ取る鑑賞（ウッドブロック）
4	「ゆかいな時計」【ICT機器で音を出すタイミングを視覚支援する】 楽器の種類や音色の違いを感じ取る鑑賞（トライアングル）
5	「森のたんけんたい」【ICT機器で登場人物を画面配信する】 曲に出てくる登場人物を思い浮かべながら歌唱する
6	「森のたんけんたい」【ICT機器で登場人物に合った楽器を提出し、共有する】 登場人物に合った楽器を選ぶ（トライアングル・ウッドブロック、小太鼓など）

7	「森のたんけんたい」【ICT機器で音を出すタイミングを視覚支援する】 選んだ楽器で演奏する。また、様々な楽器でイメージを広げる。
---	---

## 6 授業の様子

### (1) どんな音がきこえるかな

音が聴こえた場所をパソコンに録画した。芝生の上を歩く音を聴くと「サクサクって音が聴こえるね」との発言があり、歩きながら録画している様子（資料①）が見られた。教室に戻り、画面配信して発表し、葉のこすれる音を聴くと「葉っぱはシャーって音がした」との発言があった。みんなで音が聴こえた場所へ確認しに行くと、「木の音はザワワでもいいね」との発言があり、いろいろな音の違いに関心をもった様子が見られた。



資料①音を見つけて録画している様子

### (2) ゆかいな時計

曲を聴き、「どんな楽器の音色が聴こえてくる」と発問すると、「『カッコ、カッコ』って聴こえる」「『リリリリーン』て鳴ってる。」などの発言があった。そこで、ウッドブロックとトライアングルの音を聴かせると、「『カッコ』はこれこれ」と発言しウッドブロックを、「『リリリリーン』はこっちだ」と発言しトライアングルを全員が選び、音色の違いを聴き取ることができていた。曲の楽器の音を出すタイミングに合わせて音を出すとき、「楽器がパソコンで見えているときだけ音を出そう」と声掛けすると、パソコンの画面のタイミングに合わせて音を出すことができた。また、ウッドブロックとトライアングルと楽器の担当を分け、パソコンの画面を見ながら演奏することで、タイミングを合わせて楽器の音を出すことができた（資料②）、時計の様子を表現することができた。



資料②タイミングを合わせて演奏する様子

### (3) 森のたんけんたい

始め、登場人物に合う楽器の音色を、ウッドブロック、太鼓、トライアングルの中から選び、ロイロノートで提出し（資料③）、画面共有した。「ポンポンポンって聴こえるから、タヌキは太鼓だね」「トライアングルはきれいな音がするから妖精がいい」などの発言があり、キツツキはウッドブロック、タヌキは太鼓、妖精はトライアングルを全員が選んだ。次に、他に登場人物に合う楽器の音色はないか聞いてみると、「タンブリンは、ポンポンポンって聴こえるからタヌキなんだよね」との発言があった。しかし、「シャンシャンシャンってきれいだから妖精でいいんじゃない」との発言もあり、タンブリンの音色の違いについて自分の考えを話すことができた。



資料③登場人物に合う楽器をロイロノートで提出する

## 7 結果と考察

見つけた音をパソコンで共有することで、様々な音があることに気付くことができた。楽器にも種類によって音色の違いがあることに気付き、登場人物に合った楽器を選び、タイミングを合わせて演奏することができた。

## 8 今後の課題

楽器の種類による音色の違いを感じ取ることができた。しかし、どの楽器も大きな音を出してしまい、演奏の仕方による音色の違いを感じ取っているとはいえない。また、楽器の音をタイミングよく出せるようになったが、曲のリズムに合っているとはいえない。今後の課題として、音の強弱や材質の違いによる音色の違いや、曲に合わせて体を動かしたり友達と手拍子を合わせたりして、リズムを感じ取れるようにしていきたいと考える。